

はじめての



学会参加の楽しみ方

学会とは？

- 学会ってどのようなもの？
- 講習会とは違うの？
- 内容が難しくてついていけない気がする
- 何が得られるのかわからない
- 学会を楽しむ方法って？
- 発表は必ずしないといけないの？



Q1.学会とはどのようなもの？

- 1 学術研究の機関。アカデミー。
- 2 **互いに学習するための**組織や会合。研修会。
- 3 学術研究の推進、**学者相互の連絡**などのために組織された、専門研究者の団体。または、その会合。

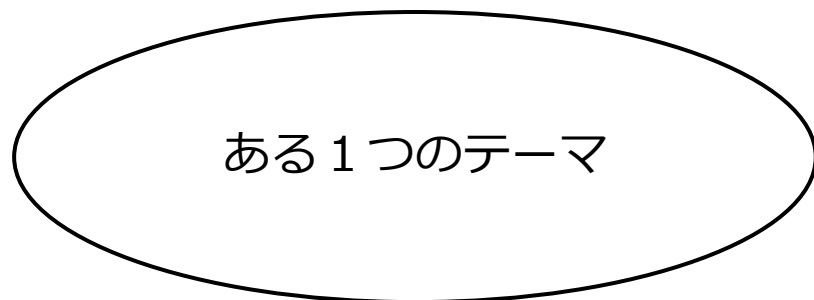
日本国語大辞典 より



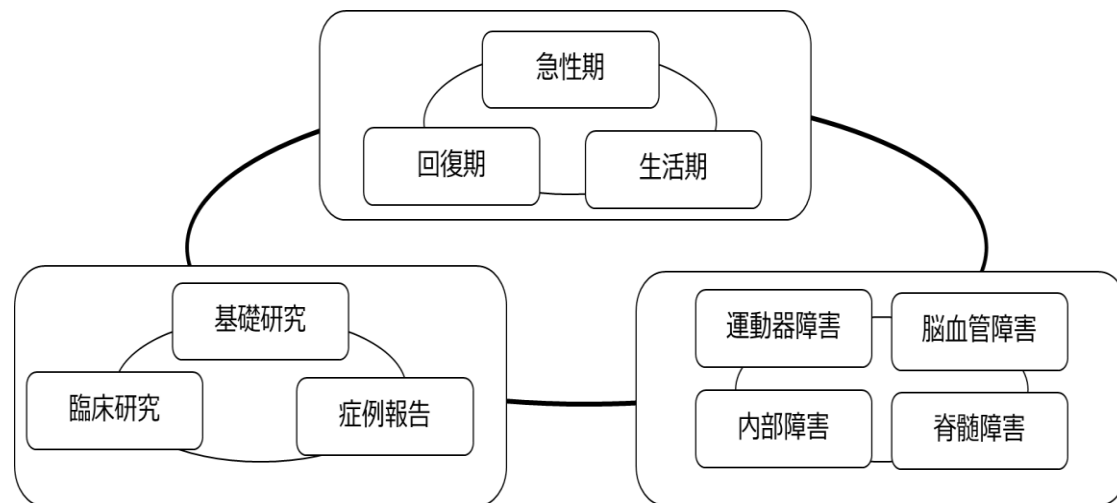
学会は発表や講演を聞くのみではなく
発表者同士や発表者と参加者の**相互交流**から
新たな学びや臨床・研究を発展させていく場にもなります

Q2. 学会と講習会は違うの？

講習会



学会



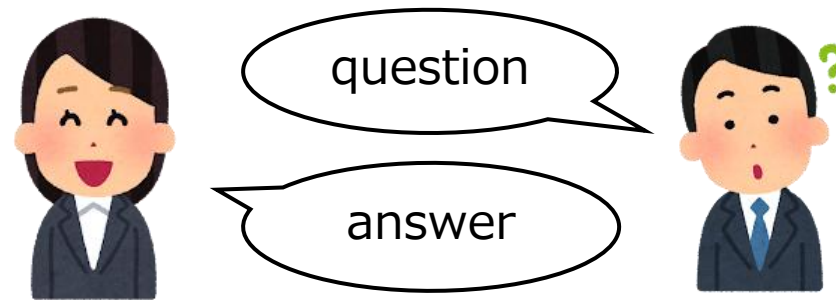
講習会では多くの場合、1つのテーマを1人の講師から教えてもらう構成なのに対して学会では、多岐にわたる疾患や病期の研究・症例報告が多数集まって構成されます

自分が知らない病期や疾患の報告から、思わぬ参考になる知識が得られるかも

Q3. 学会の内容は難しい？



大阪府理学療法学術大会の特徴として症例報告・臨床研究の割合が多いので、自分の臨床をイメージしながら見聞きがしやすいと思います



また、学会発表は後から質疑応答や対話する時間もあるのでわからなかったことを発表者にお伺いする機会の確保がしやすいのも特徴です

Q4.学会ではどんなこと得られるの？ ①

本や文献になる前の、最新の知見

発表される演題は、書籍にまとめられたり、研究論文になる前の大元のアイデアや、予備的な検討、1症例での試行だったりすることがあります

自分と同じ立ち位置の臨床家の実践内容

自分自身に近い経験年数、職域、担当症例を持つ方の実臨床での評価方法や介入方法、工夫や他の症例への活かし方について話を聞くことができます

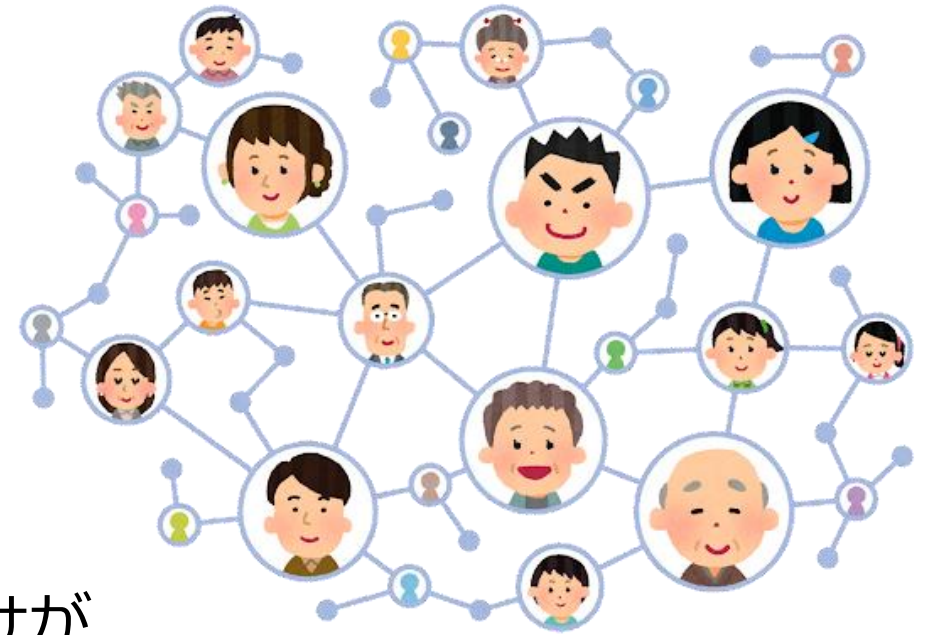
Q4.学会ではどんなこと得られるの？ ②

参加者同士の交流機会

同じくらいの経験年数で、同じ関心を持つ、
違う施設の参加者と出会うことは、
自身を研鑽する良い動機になります

臨床や研究経験に長けている、同じ関心を持つ
違う施設の参加者と出会うことは
新たな学びの始まりとなります

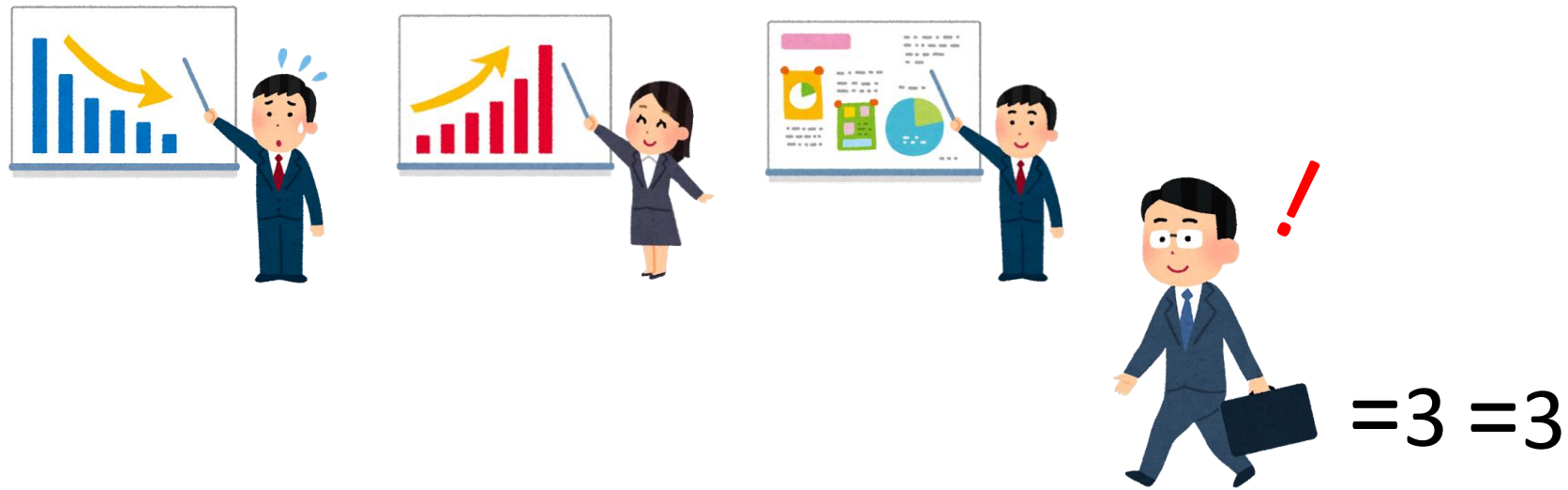
学会発表や研究、あるいはキャリアアップのきっかけが
学会での出会いであることも少なくありません



Q5.学会を楽しむ方法って？ ①

まずは、できるだけ多くの発表を見てみましょう

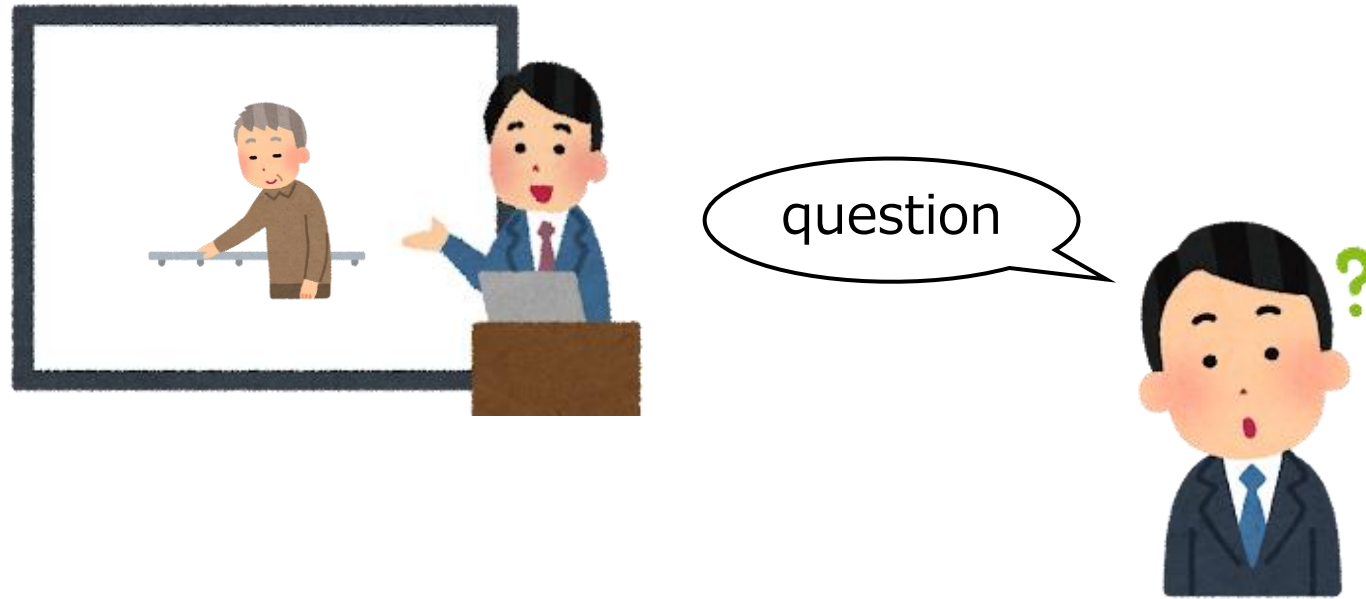
- ・ 第32回大阪府理学療法学会(2020年度)一般演題数 163演題
- ・ 第33回大阪府理学療法学会(2021年度)一般演題数 118演題



多くの発表演題から、興味のある演題を探して
「知らない内容をたくさん見聞きする事」「発表している人をたくさん見る事」
から研鑽のきっかけや、やる気を持ち帰ってみましょう

Q5. 学会を楽しむ方法って？ ②

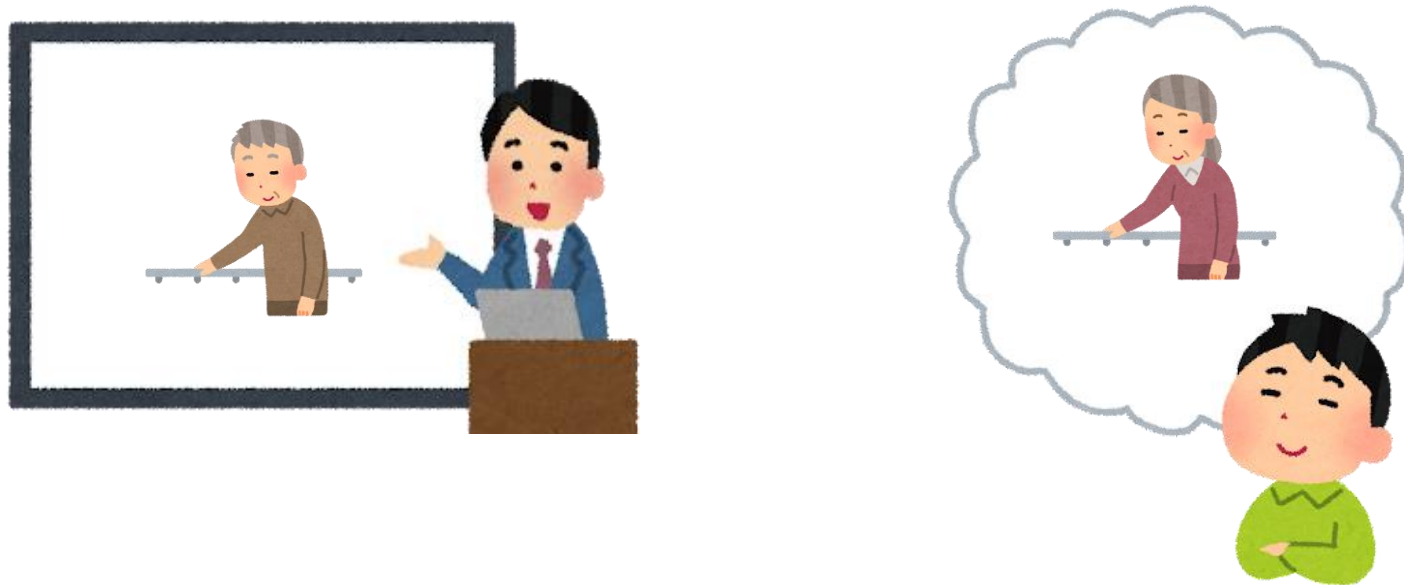
疑問に思ったことを
発表者に聞いてみましょう



質問をきっかけに新たな学びや出会いを楽しみましょう
発表者は質問がないと寂しいので、質問はほとんどの場合喜ばれます
臆せず質問してみましょう

Q5.学会を楽しむ方法って？ ③

見聞きしたことをきっかけに
「自分だったら…」をイメージしてみよう



発表を聞きながら、普段の臨床で活かそうか想像してみよう
実際に想像してみたことを発表者に質問してみると
更に持ち帰るアイデアが増えるかもしれません

Q6.発表は必ずしないといけないの？



学会に参加するために
発表は必須ではありません
発表しなくても、たくさんの学びを
得ることができます

ただ、発表を行うと
あなたの悩みや考え、工夫について
たくさんの参加者が
一緒に解決策や改善策を思案してくれるため
よりたくさんの学びを得ることができます

もし、学会発表に関心を持たれた場合は
「症例発表のすすめ」 **「臨床研究のすすめ」** もぜひご覧ください

その他 -オンデマンド配信について ①-



。。。

学会当日は予定があって
現地参加できない…

そんなあなたのために

第34回大阪府理学療法学術大会では「**一般演題のオンデマンド配信**」があります

もし当日参加が出来なくても、オンデマンド配信から以下のような学びを得られます

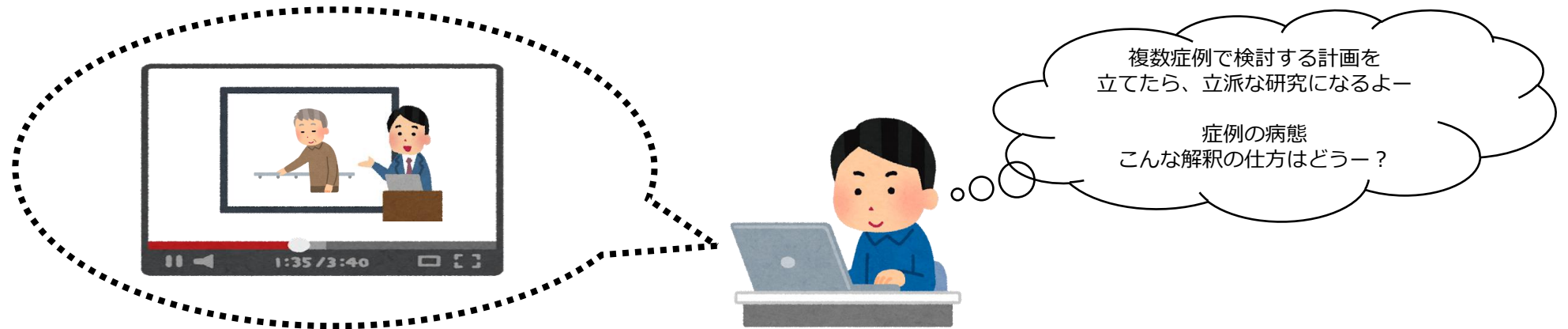
- ①どんな発表がされたかを知ることができる
- ②様々な一般演題から情報収集ができる
- ③スライドのつくりや発表の仕方を真似することができる
- ④発表者から刺激を受ける

etc...

なので、**オンデマンドでの聴講もおすすめです！**

その他 -オンデマンド配信について ②-

一般演題のオンデマンド配信ではコメント欄があり
経験豊富な先生から、演者の学びになるような
コメントやアドバイスを記載していただくようにする予定です



今回のオンデマンド配信では演者からの返答はありませんが※
経験豊富な先生方からのコメントやアドバイスが
大阪府の、発展途上にある理学療法士の成長と
大阪府の、理学療法士の行う学術活動の発展に繋がります
是非、オンデマンド配信におけるコメントもお願いいたします！

※現地で座長から質問として取り上げさせていただく可能性はあります。

終わりに

学会は新たな知識と新たな出会いを獲得し、
意見交換を行う事ができる場所になります

参加することで考える幅が広がり、
新しいステップを踏むことが
できるかもしれません

ぜひ学会に足を運び、
学びのきっかけをたくさん持ち帰ってください



参考文献

- Braian C. Vickery: 村主朋英(訳).歴史のなかの科学コミュニケーション. 勁草書房,2002.
- 澤田辰徳(編).作業で結ぶマネジメント. 医学書院,2016.
- 金谷さとみ,高橋仁美(編).リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック. メジカルビュー社,2018.
- 酒井聡樹. これから学会発表する若者のために(第2版). 共立出版,2018.